

報道関係各位

水戸芸術館 ACM劇場 新監督就任のお知らせ

水戸芸術館 ACM 劇場での企画・制作を担当する演劇部門は、新しい芸術監督を迎えることとなりましたのでお知らせいたします。

前任の高橋知伽江に代わり、平成 29 年 4 月 1 日より井上 桂(いのうえ・かつら)が、演劇部門芸術監督に就任いたします。(詳細別紙)

高橋は、平成 25 年度から 28 年度までの 4 年間、演劇部門で芸術監督を務め、在任中は、より質の高い舞台作品をご紹介することはもちろん、「未来サポートプロジェクト」や「水戸子どもミュージカルスクール」といった取り組みを通して、誰もが演劇や舞台に親しんでいただけるよう種を撒き、それをじっくり育て、地域に根差した事業を皆さまにご提供する活動も続けてまいりました。

新年度より、新監督の井上へとバトンを渡し、皆さまから強いご支持をいただいている事業は継続しつつも、さらに幅広い層に喜んでいただける新しい多様な企画をご用意して、ACM 劇場がますます地域の皆さまにとっての財産と感じていただけるよう、スタッフ一同励んでまいります。

ぜひ今後とも、水戸芸術館 ACM 劇場をよろしく願いいたします。

高橋 知伽江よりご挨拶

4 年間たいへん貴重な体験をさせていただき、心より感謝しております。ありがとうございました。水戸芸術館との絆、劇場にお力添えくださる皆様とのご縁を、これからも大切にしていきたいと思います。市民にもっともっと愛される劇場になるように、後任の井上 桂をサポートしていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

<本リリースに関するお問い合わせ>

水戸芸術館 広報係 山本 久子 Tel.029-227-8111 (代表)

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8

公益財団法人 水戸市芸術振興財団

井上 桂 演劇部門芸術監督よりご挨拶

「市民の皆さまにとって、振り返れば“思い出の場所・水戸芸術館”であるように」というのが、前任の高橋が着任したときに目指した劇場のイメージでした。四年の任期中、茨城の若い才能を発掘する「未来サポートプロジェクト」や「水戸子どもミュージカルスクール」といった教育普及活動など、非常に多くのことを成し遂げ、多くの方の中で水戸芸術館は、ひときわ鮮やかな存在として確立したことと思います。

中でも「ファミリーシアター」の一連の企画は、たくさん子どもたちとご家族を魅了してきました。誰にでもご満足いただける”間違いのないひと時”というだけでなく、お芝居がもつ様々な効能を改めて再認識していただける機会にもなっています。作品としてのクオリティも非常に高く、すでに全国でも有数のレベルに達していると断言して間違いのないと思います。

それは水戸に生まれた新しい誇りであり、新たな伝統と思えるほどです。

ですから、それらの宝物をより輝かせ、より多くの方々にお届けするのが後任の私の第一の仕事と思い、この仕事をお引き受けしました。

劇場が提供する企画でどんな地域貢献ができるのか。これは公共劇場である水戸芸術館の大きな命題の一つですが、優れたエンターテインメントの紹介にとどまらず、水戸で生まれ水戸で育った素晴らしい作品を、ある種の公共財として全国各地に届ける、それも一つの地域の誇りになるのではなからうか、そのあり方も探ってまいります。もちろん、新しい才能の発掘や、幅広い世代の期待に応えられる多彩な企画も引き続き継続してまいります。

単なる娯楽の消費に終わらない、誰にとっても素敵な“思い出の場所・水戸芸術館”であり続けるために。

《井上桂プロフィール》

1964年生まれ。岩手県出身。大学時代より野田秀樹氏の夢の遊眠社、井上ひさし氏のこまつ座などで演劇に関わり、大学卒業後は演出部・舞台監督として活動、1996年の新国立劇場の開場とともに演劇制作部でプロデューサーとして、渡辺浩子、栗山民也両芸術監督の下、企画制作を行う。2005年、新国立劇場に演劇研修所が開設されるとその運営を栗山氏と‘10年まで担う。以降はフリーとして活動しつつ、’12年より日本芸術文化振興会プログラムオフィサー（演劇部門）、芸術選奨推薦委員などを歴任。’17年4月より、水戸芸術館演劇部門芸術監督就任。

